



No-Dig Today

季刊 ノーディグ トゥデイ

環境にやさしい非開削技術

2018
Oct.
No. **105**JAPAN SOCIETY FOR
TRENCHLESS TECHNOLOGY

《読者応募作品》

四季の鳥・秋（ノビタキ（メス））

撮影 名執修二

ノビタキ（野鶇）は日本では夏鳥として本州中部以北に渡来して繁殖します。草の穂先や灌木などにとまって移動を繰り返して、主に昆虫類とその幼虫を食べます。オスは頭から背中、羽の上面が黒く、腰・腹は白く、胸に橙赤色があって、飛んだ時は翼の白斑が目立ちます。止まった姿は直立して胸を張った姿勢で、周囲を見回しています。ツグミなども地上を歩く鳥ですが、同じように胸を張っていつも上空を見回していて、鷹などの外敵が来ないかいつも警戒しているように見えます。「ヒーチュ ヒーチー」などとさえずります。体長は約13cmでスズメと同じくらいの大きさです。夏鳥は南から、冬鳥は北から渡ってくる考えればよいのですが、その渡りのルートは分っていないものが多いです。ネットを見ていたら、北海道のノビタキが中国北部へ渡り、沿海沿いにインドシナ半島まで渡って行ったものが見つかりました。ジオロケータという小型装置を鳥の背中に取り付けて、その装置で日の出、日の入りの時刻を記録して、その装置を回収して緯度経度のデータを得る方法で行われたようです。この他に人工衛星を使う方法などもあるようです。

（緑の森倶楽部）



さいたま緑の森博物館

O提携媒体

Trenchless International

目次

3	●写真速報 第10回通常総会／第25回非開削技術講演会 下水道、くらしを支え、未来を拓く下水道展'18北九州 インフラ検査・維持管理展／土木学会年次学術講演会	
6	●第29回非開削技術研究発表会開催のご案内	
7	●特集／地上からの調査・探査・診断技術	
8	●特集のわらい ・非接触音響探査法の欠陥検出アルゴリズムと高架橋における適用例 川崎地質(株) (本誌編集委員) 鈴木 敬一 桐蔭横浜大学大学院工学研究科教授 杉本 恒美	
14	・道路維持管理のための陥没危険度指標の活用について (株)日本コン経営企画本部経営企画部担当部長 清水 康生	
20	・道路インフラの維持管理における地中レーダ探査の活用 応用地質(株)技術本部研究開発センター主任研究員 山下 善弘 メンテナンス事業部技術部グループリーダー 鴨下 智裕	
26	・地中レーダ探査結果のAI技術による画像判定 川崎地質(株)戦略企画本部技術企画部課長 鈴木 敬一 戦略企画本部情報企画管理室長 安藤 潤	
30	・地中埋設物探査レーダ装置 GN-02の探査結果と開削結果の比較 日本信号(株)ビジョナリービジネスセンターEMS事業推進部課長 松山 崇	
35	・デジタルカメラを用いた三次元計測 NTTインフラネット(株)技術開発部 吉田 浩隆	
40	・管水路の漏水位置を特定するカプセル型漏水探査装置 (国研)農研機構(NARO)農村工学研究部門施設工学研究領域施設保全ユニット長 中嶋 勇	
44	●海外情報 2017年度中国非開削技術の回顧と今後の展望 京都工芸繊維大学長もちの科学開発センターシニアフェロー元下水道新技術機構評議委員 久米 辰雄	
52	●国内イベント報告 1・ドイツ非開削技術セミナーの報告 JSTT 事務局	
57	2・インフラ検査・維持管理展と無電柱化推進展 No-Dig Today 編集室	
60	3・下水道展'18北九州 取材メモから No-Dig Today 編集室	
66	4・平成30年度土木学会全国大会参加報告 川崎地質(株) (本誌地下探査技術委員) 鈴木 敬一 西尾 宣明	
68	●知って得する身近なScience 防潮堤問答	
74	●会員談話室 土偶女子 (株)協和エクシオ土木事業本部 石垣美南海	
76	●モニター感想文 104号を読んでみて オリジナル設計(株)水インフラ本部下水道部 竹内 章博 (株)NJS東部支社東京総合事務所プロジェクトマネジメント1部 植木 崇 日本工営(株)流域水管理事業部上下水道部 小野 篤史	
77	●UP DATE	
78	●事務局長交代のお知らせ	
79	●編集委員会が改変されました	
82	●Back Number	
83	●特集・技術記事お問合せ先	
85	●JSTT・委員会	
86	●編集後記 本誌編集委員 人見 隆	

※特集および投稿論文は、著者の責任において執筆された記事であり、必ずしも日本非開削技術協会の見解ではありません。
※技術論文などにはキーワードを付与しています。これによりJSTTホームページでの検索ができます。

表紙の写真：グダニクスの旧市街（ポーランド）

ポーランドSTTのあるフルジャワの北に位置するグダニクスは、バルト海沿岸の都市で1000年以上の長い歴史を誇り、ハンザ同盟の自由都市として16～17世紀に黄金期を迎えた。この街のそのころの華やかな街並みが今でも息づいています。